

平成24年度
市長の施政方針

「人とまちが輝く快適都市
よしかわ」を目指して

災害から市民の生命と

財産を守る

○地域防災計画を見直し、防災体制の再整備を図ります。
○全ての避難所の防災倉庫整備を完了します。

○住宅用太陽光発電設備設置費用を支援します。

○防災、災害復旧の拠点施設として真に機能する本庁舎の整備を推進します。

子育てしやすい

まちをつくる

○2つの民間保育所を開設し、待機児童ゼロを目指します。
○送迎保育事業を実施します。
まちなみの住みよさ

魅力を高める

○バス路線の新設により公共交通網の利便性を向上させます。
○吉川美南駅周辺地域の市街化区域編入に向け、土地区画整理事業の事業化を進めます。

自民・みらい

松崎 誠

問 市や市民にできる省エネルギー施策、そして、太陽電池以外の代替エネルギーについて。

答 市長 市では特定規模電気事業者（PPS）から電力を購入し、経費の節減に努めているところですが、代替エネルギーにつきましては、天然ガス、地熱発電、水力、風力発電、バイオマス等があります

が、今後も国や県などの先進的な取り組みについて情報収集に努めてまいります。

問 給食調理施設の老朽化に伴い、今後、新たな給食センターの整備に向けて、どのよ



老朽化が進む第一学校給食センター（川藤）

うな見通しを持っているか。

答 市長 平成23年度に関係地権者と用地交渉を行い、承諾が得られたので土地開発公社による用地先行取得をする予定です。今後、PFI方式による改築手法について、業務委託による導入可能調査を平成24年9月ごろ発注し、手続きを進めてまいります。

問 施政方針では「防災・災害復旧の拠点施設として真に機能する庁舎の整備を推進してまいります」とあるが、新庁舎の建設を判断されるべきと考えますが、市長の考えについて。

答 市長 耐震性能の不足、狭さやバリアフリー対策など庁舎が抱えているすべての課題の解決は、新庁舎建設によつてのみ実現できるものと考えます。市民の代表からなる庁舎建設検討委員会を平成24年2月に設置し、夏に予定されている当委員会からの報告を踏まえ、新庁舎の建設について決断し、一日も早く、スピード感を持って新庁舎建設を推進することが私の責務と考えています。

市民改革クラブ

稲垣 茂行

問 吉川市地域防災計画の見直しのポイントと国・県の防災計画との関係。帰宅困難者や要支援者対策について。

答 市長 情報通信機器の整備をはじめ避難所の設置・運営、帰宅困難者対策、備蓄物資、放射能汚染対策等の見直しが必要と考えている。

問 防災訓練は、実践的な訓練を実施すべきと考えますが。

答 市長 避難所の運営方法やHUG（避難所運営ゲーム）等を検討したい。

問 第2期除染計画の概要と食品の放射性物質検査の概要。東電への除染費用等の請求と国からの財政支援は。

答 市長 国の特別措置法に基づき除染も兼ね、第1期で出来なかつた街区公園等の除染を進めたい。食品の検査は、4月から当日使用する給食食材の検査に入る。東電への請求は、国の補助対象外となる費用を請求したい。

問 新庁舎に求める機能と建設スケジュールは。



耐震性が心配される市役所庁舎

性の向上を図る。検討委員会の報告を踏まえて示す。

問 南中及び駅北口いちょう通り周辺の治水対策は。

答 市長 抜本的対策は総合治水計画に基づき整備。共保・高久ポンプ場の延命化を図る。

問 民間保育所開設後の待機児童は。認可外保育所への支援拡大は、就労支援、少子化対策に繋がる政策と考えるが。

答 市長 待機児童は解消される見通し。認可外保育所支援拡大については、研究したい。

問 美南駅周辺開発の見直し。

答 市長 重要課題だと認識している。各種都市機能を備えた複合新拠点として、県との協議を進めて行きたい。